

(学校運営協議会・報告様式)

令和7年度 第2回 庄内小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和7年 6月 17日 (火) 9:20 ~ 11:00

2 場 所 庄内小学校図書室、各教室

3 あいさつ(学校長、委員長)

(学校長)今日は授業参観として、学校の普段の様子をみていただく。忌憚のない意見を
お願いします。

(委員長)今日は、各先生方による授業の進め方をみせてもらう。よろしくお願いします。

4 授業参観(2 限目)

1 年:生活 2 年:図工 3 年:社会 4 年:理科 5 年:家庭 6 年:音楽

5 協議内容

(1) 意見交流

1 年生

- ・いのちの安全教育「大切なからだ」について学んでいた。自分も他人も、してもされてもいけない基本をきちんと学校が教えていて、安心した。
- ・まっすぐ手を挙げ、椅子を机に入れて発表するという規律ができていて成長した。イラストやクイズで子どもたちの心は引き込まれ、自分の思いを発表し、ふり返りもできた。
- ・人は一人ずつ違うということまで触れて、子どもたちはよく集中して理解していた。

2 年生

- ・友達の顔をじっくり描いていた。
- ・顔を描く大きさに型取った厚紙が用意され、輪郭をとって描いていた。技術面の指導と工夫に驚いた。

3 年生

- ・鈴鹿の農畜産物について、鈴鹿市のマップをもとに先生が説明されていた。どこに何があるか、先生も一緒に探すようにして、上手にコミュニケーションをとられていた。
- ・農産物について、地形の様子を繋げながら、鈴鹿のことをしっかりと教えていた。

4 年生

- ・電気のはたらきを学んでいた。黒板に何をするのか表し、わかりやすい指導だった。扇風機をまわせたとき、子どもたちはとても楽しそうだった。
- ・実験のため子どもたちの話し声が多くなるが、子どもたちで注意をしていた。
- ・心が不安定になってしまった子どもに、他の先生の対応が必要なときもあった。

5 年生

- ・裁縫の学習を、黙々と行われていた。クロムブックを見ながら取り組む姿が新しかった。
- ・男の先生が裁縫を教えるなんて、私たちの時代ではなかったが、針に糸を通して玉結びするなど、大人になってもずっと役立つことである。

6 年生

- ・リコーダーのテストをしながら、他の子どもはプリントに取り組んでいた。先生が、吹けないところは「こうした方がいいよ」と一人ひとりに細かく教えていた。学校の特色である少人数がいかされている。プリントをする子どもとても静かに学習していた。
- ・リコーダーを先生とマンツーマンでやって、音程に対してもよく聞かせて指導し、できたらほめてあげていた。

全体をとおして

- ・落ち着いて、いい環境で授業を受けている。
- ・久しぶりに母校の授業をみて、私たちの時とは違う先生方の指導に驚いた。話しかけるような問いかけをし、子どもの話をよく聞いてくれる指導だった。

(2) その他

- ・亀山で、子どもたちの登下校で日傘をさして歩いているのを見た。暑さ対策として取り入れてはどうか。→日傘を禁止はしていない。子どもの安全を考慮しながら、検討する。

6 アドバイザーより

- ・教室が10人程度だとその時間ごとに声がかけられる。そのような少人数のよさを、いかしてやってもらっている。教員が上から教えつけるのではなく、話し合い、また子どもを引き付ける手立ても丁寧にやっている。
- ・クロムブック等の取組によるのか、高学年になるにつれ姿勢が気になった。
- ・学校全体が古い施設にもかかわらず、掲示物等がうまく貼られていてきれいである。
- ・日傘の登下校は他校でも行われているが、子どもの距離を保たなければいけないことや、視界が悪くなること等、課題も出てくるので、指導が必要である。

次回 日程の確認 8月1日(金)13:30~